





杉山卓男さんが刑務所での生活を著書にまとめ、発行します。(茨城新聞より)

○母親大会で宣伝、署名活動○

6月23日(日)第53回茨城県母親大会が守谷市の県立守谷高等学校で開かれました。「守大助さんを支援する茨城の会」は気仙沼直送復興支援物資販売と署名活動に取り組みました。守谷市は全国3番目に住みやすい街とのこと、若い子どもづれの夫婦参加者が多くビックリしました。全体会議での落合恵子さんの

話は聞けなくて残念でした。天候も暑くなく心地良い1日でした。

物販販売では「気仙沼一番カツオのふりかけ」だけが売れ残りでしたが、あとは完売でした。布川国賠署名は82筆、守大助さんの再審署名は64筆集まりました。5人の参加者、大変ご苦労さまでした。

「守大助さんを支援する茨城の会」事務局次長 鈴木 謙治

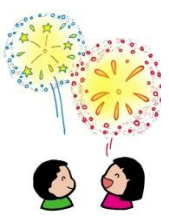
毎年恒例の花火大会交流会を今年も水戸翔事務所屋上にて行います。

夜空に咲く大輪の花を眺めつつ、みんなで食べて飲んで楽しくにぎやかに交流をしましょう！

初参加の方も大歓迎です♪ぜひぜひご参加下さい(^\_^)

2013年8月2日(金)午後6時30分～

会費：1,000円



第5回三者協議で、  
検察が病態論(池田意見書)での反論を提出

6月19日の午後から裁判所、検察、弁護団との三者協議が行われた。その経過を阿部弁護士から20日全国連絡事務局会議で説明されました。

池田意見書(弁護側)の概要はA子さんに見られた複視(二重に見える)、手足の動き、徐脈及び心停止等の見られた各病状は、①マスキュラックス投与(1)の効果では説明できないが酸素不足が急性脳症(低酸素脳症)であれば説明が可能です。そして、②複視、構音障害(ろれつが回らない)の各病状はミトコンドリア病メラス(2)であれば説明が可能である。③橋本証人(3)(検察側)が見落としていた高乳酸血症、左側難聴及び肥大型心筋症の所見がA子さんに見られたことでミトコンドリア病メラスと診断できる。

検察は池田意見書に対して刑事訴訟法435条6号※所定の証拠に該当しない=再審の条件。その根拠とする①池田意見書の新規性。②明白性。特にA子さんの病状に資料(北陵クリニックと仙台市立病院のカルテ、検察証人や弁護団証人の証言、など)は確定審で判

断されたものであることを主に反論をしています。

弁護団は検察意見書について①池田意見書「マスキュラックス中毒否定書論」について何も述べていない、反論もしていない。②池田意見のメラス論に対する批判は、批判の実質を有していない。③ミトコンドリア病についての診断は「疑い例」ではなく「確実例」に該当するもの。④本件の論点とは関係なく問題をすり替えようとしている等々。弁護団は強く反論しています。

今回は8月2日に6回目の三者協議を予定。弁護団の反論と事実調べなどについても検討したいと述べています。

用語の解説  
【※再審できる判決、再審の理由。有罪の言い渡しを受けた者に対しての無罪若しくは免訴を言い渡し、刑の言い渡しを受けた者に対して刑の免除を言い渡し、又は原判決において認めた罪より軽い罪を認めるべき明らか証拠をあらたに発見したとき。】

- 【(1)筋弛緩剤ベクロニウム=商品名マスキュラックス】
- 【(2)メラス MELAS とはミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様症候群の略称】
- 【(3)大助さんの確定審での有罪の決め手となった証人】

医療関係者で初の学習会

去る6月12日(水)、民医労(民主医療機関労働組合)の執行委員会でお時間をいただき、ミニ学習会を開くことができました。城南病院の看護師さんたちを中心に10数名の方が参加し、大変お忙しい中を山川文男院長先生(茨城の会代表世話人)もかけつけていただきました。

支援する会からは、鈴木さん、桜井さん、宇野さん、金子さん、大名の5名でおじゃまし、30分との約束で、事件の概要、なぜ冤罪と言えるのか等々懸命に訴えてきました。約束の時間を超えて1時間近くに及んだのですが、最後まで熱心に聞いていただきました。

こちらからはみんなで補い合って話をしました。いざ説明しようとする、いかに理解が中途半端だったか実感させられました。

今回は筋弛緩剤を実際に見て使っている人

たちです。理解が早く、とりわけ患者の病態が急変する様子については、身を乗り出さんばかりでした。ご自身の手術で使用しておられた山川先生も、筋弛緩剤の薬効と矛盾する病状変化に驚いておられました。最後に「筋弛緩剤の管理は一体どうなっていたのか」との質問があり、本来誰にどれだけ使ったのか細かく管理されてなければならないものであることが説明され、今更ながら北陵クリニックの杜撰な管理が招いた冤罪であることを痛感しました。今回は7月27日の学習会にご参加頂くことをお願いして、初オルグを終えました。

事務局では引き続いて、県内の医療関係の労働組合に学習会のセットをお願いする事とし、現在茨城県医労連宛にお願いの文書を送付したところです。

「守大助さんを支援する茨城の会」事務局長 大名章文